



「8・6平和のつどい」開催される！③

テーマ「日本は戦争するの？ わたしはいや ヒロシマ・ナガサキを忘れたの？」

NO.32からのつづきです

【創作朗読劇のエピソード】

創作朗読劇は、今年で6作目を迎えました。1年目は「戦争体験者の話から学ぶ平和学習」、2年目は「平和のまちミュージアムの見学」、3年目は「小倉のまちに落とされた爆弾」、4年目は「沖縄、そして九州各地に広がる基地や武器の配備」、昨年は「6年生の教科書で見る侵略の歴史」、そして今年は、「憲法について」。毎年テーマを考え、話し合いを重ねながら、『子どもの視点を大切にした平和学習』の様子が伝わるように取り組んでいます。作品を生み出すにあたり、苦しい時間もありますが、毎年出演者にも恵まれ、練習中の先生と子どもたちの会話に、思わず吹き出してしまうこともしばしばです。創作朗読劇では毎年出演者を大募集しています☆★

・ハチロク小学校の憲法の平和授業の「戦争をしない国」にするためには今後みんなで考えていかなければいけないと思う。「現政権が戦争できる国にはしてはならない」。引野「戦争を知らない子どもたち」などの歌と合唱がよかった。そして「ヒロシマの有る国で」の合唱が毎年聴くたびに感動する。来年も 8・6 平和のつどいをぜひ開催してください。(70代)



・もっとたくさんの人にきてほしい。憲法など分かりやすかった。アニメとか含めて子ども世代にもひびくと思いました。
(30代)

・子どもたちがかわって、主体的にこのような「つどい」を作りあげられていることは、本当に素晴らしいと思います。高校では、「平和教育」へのとりくみは多くの学校でできていません。しかしながら、自分にできることを少しでもやっていこうと思わせていただくきっかけとなりました。ありがとうございました。(50代)

・朗読や歌、みなさんの姿を見て、改めて戦争を忘れてはいけないと思いました。今日は、息子と参加させていただきました。家でゆっくり話したいと思います。(40代)

・教職について子どもたちと深く考えていかなければならない。知りたい。一緒に学んでいきたいと思った。今ある子どもたちの未来のために。(20代)



【クール シェリユ ブリュのエピソード】

今年の「平和のつどい」は 8 月 9 日の開催ということもあり、長崎にゆかりのある曲を選びました。「千羽鶴」は戦後 50 年を機に詩を公募し、長崎出身の大島ミチルさんが作曲した曲です。10 色の鶴には、それぞれの色に込められた意味があります。「野の果てに埋もれし人に……」と、犠牲者一人ひとりの異なる最期を歌い、最後は「未来への希望と夢を 虹色の鶴に折る」と希望へと結ばれます。10 色の鶴を和紙で折り、ステージに立たせるまでには、組合員から多くの知恵と協力をいただきました。その姿に、連帯の温かさを感じました。福山雅治さんの「クスノキ」もまた、被爆二世としての強い思いが込められた曲です。歌うほどに、悲しみや怒り、そして生命の強さが心に迫ってきます。

NO. 34 へつづきます



わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎 3 丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953 - 0381

